



▲クイズ形式でアメリカの文化を紹介するなど、工夫された講座内容に参加者は引き込まれた

日米の文化の違いや英語の勉強方法を紹介 第2回国際理解講座

10/28

10月28日(水)、市民会館で『第2回国際理解講座』(市主催)を開催しました。

国際理解講座は、市民の皆さんに諸外国の生活や文化などへの理解を深めてもらうため、平成11年度から毎年度実施。今年度2回目である今回は、アメリカ出身の英会話講師である瀧澤ジーンさんを講師として招きました。

瀧澤さんは、日本に来てから体験した面白い出来事を例に日米の文化の違いを説明したり、日本の学校ではあまり行われていない実践的な英会話の練習方法を紹介したりするなど、軽妙な話術で参加者を楽しませていました。

東京からふるさと登別に思いをはせる

11/14

第27回東京登別げんきかい総会・懇親会

11月14日(土)、東京・音楽ヒヤブラザライオンで、『第27回東京登別げんきかい総会』(東京登別げんきかい主催)が開催され、会員や関係者など93人が出席しました。

同会は、首都圏在住の登別市出身の方や、当市にゆかりのある皆さんにより平成元年に設立され、ことしで27年目を迎えました。

会場では、登別物産品の即売会も行われ、ふるさとの味を懐かしむ多くの会員が商品を買求めました。また、総会後の懇親会では、登別市出身の白田路明さんの手による津軽三味線が披露され、見事な演奏に盛んな拍手が送られました。



▲ふるさとを思いだしながら、全員で鬼踊り



▲最終日、朝から列を作りにぎわいを見せた『登別海鮮直市』



▲振る舞われた登別産エゾシカ肉や三平汁に舌鼓を打つ来場者

惜しまれつつも…10年の歴史に幕

10/25

『登別海鮮直市』最後の営業

10月25日(日)、今季をもって営業を終了することとなった『登別海鮮直市』(登別まちづくり促進期成会主催)が、JR登別駅横の登別海鮮直市アンテナショップで、多くの方から惜しまれながら、最後の営業を行いました。

『登別海鮮直市』は、登別漁港で水揚げされた水産物のPRや地産地消の拡大、地域活性化などを目的に、毎年4月から10月までの毎週日曜日に新鮮な魚介類を販売していたものです。

地元の新鮮な海の幸を購入できるとあって、人気を博していた『登別海鮮直市』。最終日は、開店前から約30人の行列ができ、新鮮なサバやカレイ、カジカ、イナダなどが15分ほどで完売する盛況ぶりでした。

また、水産物の販売のほか、ジンギスカン風の味付けをした登別産エゾシカ肉やスケトウダラの三平汁が来場者に無料で振る舞われるなど会場はにぎわいを見せ、10年の歴史に幕を閉じました。